

ねこの ちゃわん

骨董品：舌くてとてもいい道具や美術品 骨董屋：骨董品を売っている人 捨て猫：誰かが捨てた猫

町の骨董屋が村へ骨董品を探しに行きました。でも、何も見つかりませんでした。骨董屋はバスで町に帰ることにしました。バスが来るまでに1時間もあつたので、近くにあつた店に入りました。そして、その店でパンを食べ、牛乳を飲みながら、バスを待っていました。

店はおばあさんがやっていました。店の中には猫が1匹いて、茶碗に入ったごはんを食べていました。その茶碗は、50万円くらいする高い骨董品の茶碗でした。骨董屋は「おばあさんはあの茶碗が、高い骨董品だということを知らないんだ」と思いました。そして、「あの茶碗がほしい」と思いました。

骨董屋はおばあさんに「この猫を1万円で売ってくれないか。茶碗も一緒にもらいたい」と言いました。おばあさんは「いいですよ。その猫は捨て猫ですから。でも、その茶碗は汚れているから、新しいプラスチックの茶碗をあげます」と言いました。骨董屋は「いや、この茶碗でいいよ」と言いました。すると、おばあさんは「この茶碗はとても高いんです。50万円くらいする骨董品なんです」と言いました。

骨董屋は「どうしてそんなに高い骨董品の茶碗で、猫にご飯を食べさせているんだ？」とたずねました。おばあさんは「この茶碗で猫にご飯を食べさせていると、ときどき猫が1万円で売れるんです」と答えました。